

令和5年度第3回 旭川市上下水道事業審議会会議録

日時	令和5年8月9日（水）午後6時～午後7時25分
場所	旭川市上常盤町1丁目 旭川市水道局庁舎4階会議室
出席者	<p>○旭川市上下水道事業審議会委員（定数13人） ※五十音順 出席 12人（藍原委員，岩館委員，柏葉委員，後藤委員， 杉村委員，田畑委員，堂垣内委員，富田委員， 成田委員，橋本委員，山田委員，吉田委員）</p> <p>欠席 1人（中村委員）</p> <p>○水道局 14人 沖本部長，高橋次長，松田次長，伊藤課長，稲場課長，田中課長， 山田課長，原課長，黒川所長 （経営企画課）平野補佐，杉山主査，渡部主任 （総務課）大口補佐，石山主査</p>
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者	0人
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）後期財政計画の策定について</p> <p>ア．後期財政計画の骨格（計画の構成）</p> <p>イ．後期財政計画と事業の概要</p> <p>ウ．現状の整理</p> <p>エ．将来の事業環境予測</p> <p>（2）その他</p> <p>3 閉会</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 後期財政計画の骨格（計画の構成）（案） ・資料2 後期財政計画と事業の概要 ・資料3 経営指標を活用した現状分析と経営資金（現状の整理①） ・資料4 旭川市水道・下水道ビジョンの進捗状況（現状の整理②） ・資料5 将来の事業環境予測（料金収入編） ・資料6 将来の事業環境予測（施設の老朽化編）

議事内容等	発言者	発言の要旨等
1 開会 (出欠者の報告)	事務局	定刻となりましたので、ただ今から、令和5年度第3回上下水道事業審議会を開会いたします。
	事務局	現在、委員13名中11名が出席となっておりますので、審議会規程第5条第2項に基づき、本日の会議は成立することを報告します。
2 議事 (1) 後期財政計画の策定について ア. 後期財政計画の骨格 (計画の構成)	会長	これより議事に入ります。 議事(1)後期財政計画の策定について ア. 後期財政計画の骨格(計画の構成)について事務局より説明願います。
	事務局	(資料1に基づき説明)
	会長	事務局から提示のあった計画の骨格案、議論の流れについてでございます。 この会議をスムーズに進行していくためのものであり、また、今後計画を作っていく上で、まさに骨格になるものと思いますが、このような内容、進め方でよろしいでしょうか。
	各委員	(了解)
イ. 後期財政計画と事業の概要	会長	イ. 後期財政計画と事業の概要について事務局より説明願います。
	事務局	(資料2に基づき説明)
	会長	ただいま事務局より説明がありましたが、御意見・御質問ございませんか。
	各委員	(なし)

議事内容等	発言者	発言の要旨等
ウ. 現状の整理	会長	ウ. 現状の整理について事務局より説明願います。
	事務局	(資料3および4に基づき説明)
	会長	ただいま事務局より説明がありましたが、御意見・御質問ございませんか。
	委員	減価償却の仕方ですが、定率法ですか。定額法ですか。
	事務局	定額法です。
	委員	資料4の目標4基本施策1重点事業(2)にかかわってですが、応急給水訓練について、令和2年度以降は記載がないようですが、実施していなかったのでしょうか。
	事務局	令和2年度からはコロナ禍に入り、応急給水訓練については、令和2～4年度は、水道局全体の訓練は実施していませんが、担当課である管路管理課の職員は実施しています。
	委員	弊社では外部委託の関係で、担い手不足が問題になっています。委託については入札で決められているのかとは思いますが、休日夜間の対応がある中で、若手の方がどんどん離れていくということで、委託が難しくなっている現状にあります。水道局ではそのようなことはないのでしょうか。
	事務局	平成29年度から浄水場の休日夜間の外部委託を始め、今度3回目の公募になります。参加者は今のところ手を挙げていただいている方がいます。これから先もそういう方がいらっしゃるのかというところが不安なところではありますが、現在はなんとかなっているという状況でございます。
委員	資料3のなかで、経常収支比率は100%を上回っていますとの御説明を受けました。よく見ると水道料金だけではなく、一般会計からの繰り入れも含めてプラスになっているということです。水道料金だけではまかないきれないということなのではないでしょうか。	

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	事務局	資料3(2)①イ 料金回収率は、一般会計の繰入金は入ってないですが、令和4年度には純粋な料金収入だけで100%を上回っています。
	委員	令和4年度になってやっと収支がとれたということですね。
	事務局	はい、そうです。
	委員	<p>それと関連して資料3の5ページの経営資金のところですが、水道事業会計の資金推移として平成28年度決算からどんどん資金が減少していますが、料金改定があってなんとか持ちこたえているように見えるのですが、この主な原因が、あとで御説明あるかとは思いますが、人口減・利用者減にかかわってくると思います。</p> <p>水道事業はいったん料金改定でおさまって、下水道事業では借入金があっておさまったものの、だんだん下へ向いていって、いずれゼロを割ってくる可能性はありますよね。そうすると将来的には今のままでいくと料金改定をしなければいけないということになってくるのでしょうか。</p>
	事務局	<p>次回の審議会の中で説明することになりますけれど、今簡単に説明いたします。前回諮問したときに料金改定について審議していただきましたが、水道事業に関しましては令和9年度まではもつような改定率で料金改定させていただきました。下水道事業は下がってきていますが、一時的に資金不足に陥るところを、今回、企業債の借り方や返し方の工夫でなんとか回避できまして、その後は資金がだんだんたまっていくことになっているので、下水道については令和9年度以降も料金改定は必要ないのかなと考えております。それに関しましても、次回の審議会で資料を提示し、説明させていただきたいと思っております。</p>
	会長	ほかに御意見・御質問ございませんか。
	各委員	(なし)
エ. 将来の事業環境予測	会長	エ. 将来の事業環境予測について事務局より説明願います。
	事務局	(資料5および6に基づき説明)

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	会長	ただいま事務局より説明がありましたが、御意見・御質問ございませんか。
	委員	水道施設に関してなのですが、耐震化についてはすべて完了されているのでしょうか。
	事務局	すべては終わっていない状況で、次期財政計画で調査を行う計画でございます。
	委員	安全・安心な水を届ける上で、耐震化していなくて、老朽化が進むということであれば、優先順位をつけていただいて整理する必要があるのかなと思います。水道管のほうは、年間1%更新するというところで、数値が出ているのですが、下水道管についての数値目標は計画上、盛り込まれてはいないのでしょうか。
	事務局	<p>下水道管の更新については、内部をカメラで確認する老朽度調査をします。それを踏まえて、耐震及び強度などを確認し、ストックマネジメント計画というもので、どの管を順次補修するかというのを都度決めていきます。</p> <p>そのため、今、具体的な計画として何%というかたちでお示ししていない状況です。</p>
	委員	ストックマネジメント計画の中には、今後およその更新年数、%を盛り込む予定でしょうか。
	事務局	汚水管については、硫酸の影響を受けて腐食することで、劣化する状況となります。管をマンホールでつなげることで段差ができ、空気に攪拌されるようなところに、劣化が生じやすいのですが、場所や地区によって、劣化の進行がまちまちのため、何%というのは示しにくい状況となっております。
	委員	資料6の最後のページに記載がある亀吉雨水ポンプ場ですが、最近かなりゲリラ豪雨とかで、雨水の排水とか内水氾濫が起きる可能性があるかと思うのですが、こちらの危険度・優先度とかについてはどのように考えているのでしょうか。最近のゲリラ豪雨には時間あたりの雨水量に対してどれくらい耐え得るのでしょうか。

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	事務局	<p>亀吉雨水ポンプ場は昭和39年に稼働し、老朽化はかなり進んでいます。今年度実施設計をしていく中で、改築などを検討していく予定です。</p> <p>ゲリラ豪雨については、降水量によって変わったりするので、一概には言えないのですが、施設の中で言えば、基本的には間に合っているかと思います。</p>
	委員	<p>現状でいうと、過去、内水氾濫はしないで亀吉雨水ポンプ場はもっているということでしょうか。</p>
	事務局	<p>河川とは違うので、その点は大丈夫です。</p>
	委員	<p>配水管は年間22キロ更新していくということで、耐震も含めて対策していると思いますが、22キロの更新の内訳として、ダクタイル鋳鉄管の割合など、具体的な割合はどのような状況でしょうか。優先的に行う割合などもありますでしょうか。</p>
	事務局	<p>基本的には耐用年数が100年期待できる管を今後1%ずつ布設していき、100年後以降も同じように1%ずつ布設していくという計画です。</p> <p>22キロの内訳としましては、塩化ビニル管（TS型接続継手）は15～16キロ前後は実施し、漏水も多いためメインで対策をしていきたいと考えています。漏水のみられる、ダクタイル鋳鉄管（GX形以外）については、土質の悪いところで腐食が進んでいるため、優先度を設定しながらGX形に更新していくイメージです。</p> <p>国の補助も活用しながら、毎年1%を更新していき、併せて資料6の1ページのグラフにあるように配水管布設年度が山のようになっているのを、平らにしながら更新していきたいと思っています。</p>
	委員	<p>配水管の延長は毎年1%。漏水が起こったら、配水管を変更すると思いますが、それも含めて1%なのではないでしょうか。</p>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	事務局	漏水は一時的な修繕ということになるので、こちらについては1%には含まれておりません。
	委員	漏水での更新は全体の何%くらいでしょうか。
	事務局	漏水で更新しているのが、全体の何%かというのは出せてはいないのが現状です。
	委員	漏水が起こる前と起こってから修繕するのとでは、費用はどれくらい違うのでしょうか。あまり違いがないのであれば、漏水が起こるまで待ってもいいのかなという感じもするのですが。
	事務局	漏水が実際に起こってしまうと、それに伴う被害がありますので、我々としては漏水が起こる前に修繕したいという考えはあります。ただ、現状すべてを把握するのは難しく、どうしても漏水事故が発生してしまっている状況です。
	委員	年1%の更新というのは少ないのではないのでしょうか。予算の限界なのではないのでしょうか。
	事務局	予算上もシビアではありますが、設計・積算・発注を行う上でも、職員の人数が減ってきているという中で厳しいものがあります。もし、倍の2%を発注できたとしても、受注体制にも限界がありますので、現状では1%は適当だと考えます。
	委員	下水管のところで、管更生方法で、「既設管の内面に新たに管を構築し」とありますが、これは別の管を設置するということでしょうか。
	事務局	管更生方法はいろいろな方法がありますが、代表的な例をあげますと、熱で柔らかくした樹脂管を挿入、圧着して内面に新たな管をつくりあげるといったものがあります。

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	会長	ほかに御意見・御質問ございませんか。
	各委員	(なし)
	会長	次回の進め方など、事務局から伝えておくことはありますか。
	事務局	(次回の審議項目を伝える。)
(2) その他	会長	その他の部分で委員の皆様から何かありますか。
	各委員	(なし)
	会長	その他の部分で事務局から何かありますか。
	事務局	次回、第4回審議会につきましては、9月6日(水)18:00から同じ場所での開催を予定しております。 正式な御案内は後ほど送付させていただきますが、御出席いただきますようお願いいたします。
3 閉会	会長	それでは、本日の会議はこれで終了といたします。